

三総第168号の2
令和元年8月23日

藍中学校を守り育てる会 [REDACTED] 様

三田市長 森 哲 男



要望書について（回答）

残暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、市政の推進に格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年7月12日付で提出のありましたみだしの件について、下記のとおり回答します。

記

1. 6月6日の市長による「白紙撤回」（白紙ではなかった）はどのような経過でなされたのか。市長が地元に来て住民にわかるように説明してください。

市教育委員会では、平成30年12月に策定しました「三田市立学校再編計画（第1次計画）」において、「藍中学校と長坂中学校を長坂中学校に統合する」という再編案をお示しし、関係校区の保護者、地域の皆さまに説明会を実施してまいりました。説明会の中では、特に廃止となる藍中学校区の方から、今後のまちづくり等について懸念する意見が多く出されたところであり、改めて地域にとって学校の果たす役割の大きさを深く受け止めたところです。このような状況から、今回お示しした再編案のみを「たたき台」として、対象校区のすべての皆さんと、協議を始めていくことは難しいと判断したものであります。再編案に固執することで、議論を進めていくことが難しいのであれば、これを取り下げて、再度、長坂・藍両中学校区の地域、保護者の皆さんと、一から検討することに方針を変更したものであります。

長坂・藍中学校の現状から小規模校の課題はありとされており、今後を考えると学校再編を含めた学びの環境の見直しは大変重要な課題であり、取り組んでいかなければならないものと認識しております。今後、再編案の取り下げの趣旨や今後の進め方等について、教育委員会から地域、保護者の皆さまに説明する機会を設けてまいりたいと考えております。

2. 藍中学校と長坂中学校を統合させるといふ三田市の再編計画の真の白紙撤回を求めます。

藍・長坂中学校については年々生徒数が減少し、将来的には両校とも単学級（1

学年1学級)となると予測されます。中学校の小規模化に伴い、学習指導や部活動、学校行事、学校運営等において、ますます課題が顕著になっていくことが懸念されます。

今後、保護者、地域の皆さまのご意見をお聞きし、様々な方法等について協議、検討を重ねてまいりたいと考えておりますが、その過程の中で両校についての再編を選択肢から排除するものではありません。

3. 藍中学校を小規模校として残し、専科の教師の増員を三田市の予算で行ってください。

仮に本市の予算で専科の教員を増員しても、学級担任や単独での教科指導、学習の評価はできないことから、学校の小規模化による様々な課題が、解消されるものではありません。

また、再編案の取り下げは、長坂・藍中学校の地域、保護者の皆さんと、今後の両中学校のあり方も含めて再度、一から協議を進めるために行ったものであり、藍中学校の存続を決定したものではありません。

市教育委員会として、一定の学級数、生徒数を確保することが、子ども達に望ましい教育環境を保障するという観点からも重要であると考えております。

4. 藍地域に若い家族が移り住みやすくなる地域再生計画を三田市が作ってください。

市では、地域の目標となるまちの将来像を地域の皆さんで共有し、地域課題の可視化や解決に向けた地域活動などを長期的な視点でまとめた「地域計画」策定を、まちづくり協議会単位で働きかけています。地域計画の策定は、あるべき地域の将来像等について地域の皆さんで話し合う機会を設け、意見交換するなど過程を大事にしながら作り上げていくことが非常に大切です。

従いまして、地域計画は、行政が策定するものではなく、地域の皆さんの主体的な参加の中で策定されることが理想です。

市では、地域計画の策定に際して地域の皆さんの活発な意見交換ができるよう、コーディネーターや市職員を派遣するなど支援してまいりますのでご理解をお願いします。

<お問い合わせ>

経営管理部行政管理室総務課 (TEL 079-559-5035)

回答させていただいた内容に質問等がございましたら、上記お問い合わせにご連絡ください。

なお、本件は、担当する課が複数となっており、即答が出来ない場合もございますが、その際は、担当する課から別途ご連絡させていただき回答いたします。